

会 議 録

会議の名称	平成22年度 第2回社会教育委員会議		
日 時	平成23年 3月24日(木) 開会 午前10時 ・ 閉会 午前11時15分		
場 所	池田府・市合同庁舎 5階 大会議室		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福嶋議長 ・ たつみ副議長 ・ 杉山委員 ・ 楠田委員 <p style="text-align: center;">計 4名</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>事務局職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村田教育長 ・ 田淵教育部部長 ・ 今川教育部次長兼教育政策課長 ・ 上保中央公民館長 ・ 塩川図書館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 谷口生涯学習推進課長 ・ 田上生涯学習推進課主幹 <p style="text-align: center;">計 8名</p> </td> </tr> </table>	<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福嶋議長 ・ たつみ副議長 ・ 杉山委員 ・ 楠田委員 <p style="text-align: center;">計 4名</p>	<p>事務局職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村田教育長 ・ 田淵教育部部長 ・ 今川教育部次長兼教育政策課長 ・ 上保中央公民館長 ・ 塩川図書館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 谷口生涯学習推進課長 ・ 田上生涯学習推進課主幹 <p style="text-align: center;">計 8名</p>
<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福嶋議長 ・ たつみ副議長 ・ 杉山委員 ・ 楠田委員 <p style="text-align: center;">計 4名</p>	<p>事務局職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村田教育長 ・ 田淵教育部部長 ・ 今川教育部次長兼教育政策課長 ・ 上保中央公民館長 ・ 塩川図書館長 ・ 田中歴史民俗資料館長 ・ 谷口生涯学習推進課長 ・ 田上生涯学習推進課主幹 <p style="text-align: center;">計 8名</p>		
欠 席 者	岡田委員、丹松委員、古田委員、室田委員		
傍 聴 者	なし		
議 長	福 嶋 議 長		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度生涯学習関係予算等について 2. 本市生涯学習の現状と課題について(意見交換) 3. その他 		
配 布 資 料	<p>次第 生涯学習関係予算 社教情報NO,64 社教連会報NO,68 第6次池田市総合計画</p>		

議 事 経 過

1. 案 件
(1)平成23年度生涯学習関係予算等について
配布資料 により、生涯学習推進課、中央公民館、図書館、歴史民俗資料館の予算および下記の内容のとおり現状について、各課長、施設長が報告
谷口課長 生涯学習推進課（市史編纂、社会教育団体、文化財、スポーツ及び指定管理者施設）の現状と課題について
上保館長 生涯学習の拠点としての中央公民館の取り組みと課題について
塩川館長 図書館および石橋プラザの現状と課題、駅前サービスポイントについて
田中館長 歴史民俗資料館の地域での役割と施設の現状について
委員より、指定管理料について、施設改修費が含まれているのか、という質問に対して、含まれていないと回答。
(2)本市生涯学習の現状と課題について(各委員の意見)
勉強会で聞いたモデルケースの取り組みを考えると池田の生涯学習がみえてこない。(市民の)草の根的に上がってくる動きと行政が二人三脚的に、どのようにマッチングしていくか。市民レベルの認識と教育委員会の認識とどう折り合いをつけていくか。何かをやるという個々の意識は高いが、手を組んでやる、という意識はないようだ。これをどう誘発し、盛り上げていくか。声を掛け合うキーマンを出して必然的に盛り上がるような仕組みができないか。
PTA 活動でも、子どもたちに関する意識は高いが、何かやるうとして集まるとなると、身構えてしまうのかうまくいかない。なんでもいいから、子どものために何かやれる状況というものが作られないか。地域コミュニティで、最初は防犯などを主にやっていったが、話し合っていく中で徐々に繋がっていった。
働いている人は会議などなかなか出にくい。
仕事をリタイアし、時間に余裕のあるプチシルバー層をうまく声かけしていった方がうまくいく。潜在的に何とかしたいという意識が強い。だが「どこへ行って、どうすれば良いのか」がわからない。「中央公民館へいったらわかりますよ」といった司令塔があったらよい。
意識が高く、時間もある方を誘発する仕組みが必要。
池田は自発的にされているグループが多い。市役所がこれをやれ、といたらこれに従うような町ではない。それぞれのグループがそれぞれ活動されている。これをひとつにまとめることはできなかった。サラリーマン OB 会など自発的に組織され活動され、約2百名の組織になっている。文化振興財団の事業にもお手伝いいただいている。こういった組織の活動を伸ばしていく、そこを応援していくのが行政や教育委員会かと思う。
意識が高いので、誰かが主導をとれば拒否反応を起こされるので側面から応援していく。したいことをさせてあげる条件づくりが必要。

議 事 経 過

生涯学習の活動として、高学歴、時間に余裕のある方が中心となって取り組まれているのが傾向としてある。そういう所に出にくい人たちをサポートしていくのが行政の役割。

一人当たりの社会教育費の割合は、全国平均からいうと若干低い。教育費に占める社会教育費は30パーセントが全国平均。お金をかければ良いというわけではないが。

今後の池田市の生涯学習推進計画もこの会議で議論される予定。

(3) その他

松森次長 生涯学習推進計画について

第6次池田市総合計画について、社会教育の推進について触れているが、それをもとに生涯学習推進計画、もう少し具体的な計画を策定していく予定であり、委員の皆様いろいろなご意見を頂きたい。

(閉 会)